

令和元年度 第6回人権教育学級

日時：11月14日（木） 9：50～11：50

場所：別府市役所 5F大会議室

演題：「女性と人権」

～デートDVについて知ろう！～

講師：NPOえばの会

代表 佐藤 益美 さん

※ DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、配偶者間など親密な関係にある人から受ける暴力のことです。

講演概要

前編

1 はじめに

- ・自己紹介
「さとう ますみ」の歌
- ・これまで取り組んできたこと
- ・「性」は、「心を生かす」こと
- ・性暴力は人権侵害
- ・きちんと教えることが大事
- ・今日の学習は、デートDVについて



<講師の佐藤 益美 さん>

2 DVD上映・・・デートDVを受けた高校生の体験



<DVDを視聴する受講者>

3 デートDVってなんだろう？

○DVの仕組み・・・暴力をふるった人は、暴力のあとみんな優しくなる。そうすると自分も悪かったと思う。そういう生活が続くとだんだんそのサイクルから逃れられなくなる。周りから「何で別れんの？」と言われて傷つくことがある。それも、デートDVがもたらす影響の一つである。

(1) デートDVって何なん？

特に交際相手からの暴力で、付き合っている間柄の中で起きる暴力。付き合っているお互いが対等の関係ではなく、一方が相手を思いどおりにする、支配することで起きる。デートDVは、支配と力によるコントロールである。

デートDVの事例

- ・学校に行かせない
- ・友だちに会わせない
- ・ラインが来たらすぐチェックして返さないといけないから全然寝られない、などいろいろある。

① 具体的に暴力ってどんなこと？

○身体的な暴力

- ・殴ったりけったりする
- ・ものを投げつける
- ・髪の毛をひっぱる
- 等

○言葉での暴力・精神的な暴力

- ・バカにした言葉を使う
- ・無視する
- ・大事なものをこわす
- 等

○性的な暴力

○経済的な暴力

- ・お金をねだる
- ・借りたお金を返さない
- 等

○社会的な暴力

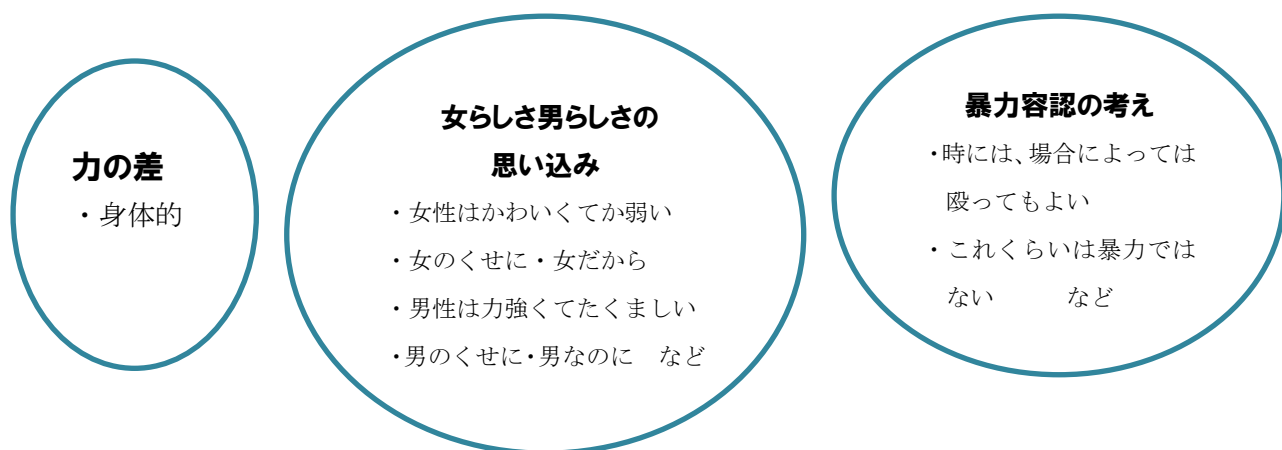
- ・バイトや部活に行かせない
- ・学校に行かせない

○デジタル暴力

- ・勝手にラインをチェックする
- ・すぐに返事をしないと怒る
- 等

② どうして起きるの？

起きる背景・・・「力の差」「女らしさ男らしさの思い込み」「暴力容認の考え」



3 それって自分にも関係あるん？

デートDVの被害経験 女性 21.4% (5人に1人)
男性 11.5% (9人に1人)

こんなにいるということは、ひと事ではないということ。いつか自分の身に起こることだってある。知らないだけで自分の周りに起こっているかもしれない。

内閣府 2018.3 発表

4 じゃあ どうしたらいいん？

自分も大事 相手も大事 暴力のない関係を

対等な関係を築いていこう

- ・自分の気持ちや考えを言葉で伝えましょう。
- ・相手のいやがることはやめましょう。
- ・「男のくせに」「女らしく」という思い込みを相手に押し付けないようにしましょう。
- ・「男性が先・主」「女性は後・従」という考え（男女差別意識）を変えていきましょう。

□
自分らしさを大切に

4 もしかしたら自分・・・！？

○被害を受けたら・・・

- ・あなたは悪くない。暴力をふるう人が悪い。我慢しても暴力はなくなるらない。
- ・暴力をふるう恋人を「私が何とか変えてみせる」と考えることは、非常に危険
- ・一人で何とかしようとしなくて、周りの人や相談機関に協力を求めること

○デートDVをしていたら・・・

- ・暴力はだめ、絶対だめ
- ・彼女（彼）はあなたのものじゃない
- ・相手の気持ちも大事にすることが大切

○友だちに相談されたら・・・

- ・どんな理由があれ、暴力を受けていいということはないので、「あなたが悪いんじゃない」

ない。暴力をふるう人が悪い」と伝える。

- ・話をゆっくり聴き、否定しない。
- ・信頼できる大人や学校の保健室の先生やカウンセラーへの相談をすすめる。
- ・身近な相談機関を教える。

よく話してくれたね。あなたは悪くないんだよ。

◇受講者それぞれでデートDV危険度チェックを行う。

<デートDV危険度チェック>

彼(彼女)が好きなんだけれど・・・

- いつも彼の機嫌を損ねないように気を配っている
- 「ブス」とか「ばか」とか傷つくことを言われる
- 友だちと会うと不機嫌になる
- 優しいなと思ったら急に意地悪をしたり、謝ったりする
- 「別れたら自殺する」と言う
- 「お前のせいで気分が悪くなった」と言われる
- 気分などお構いなしにHを求める
- 自分の意見をいつも否定されるので話し合いができない
- 彼がいないとなぜかホッとする

彼女(彼)が好きだから・・・

- どこで、何をしているのか知らないと気がすまない
- 自分の好み(服や髪形)を押し付ける
- 腹が立つと相手に向かって物を投げる
- 自分のことを一番大事にしないと腹が立つ
- 自分の意見に従わないとイライラして大声を出す
- 携帯電話の履歴やアドレスをチェックするのは当たり前だ
- 愛しているならいつでもHに応じるべきだ
- つき合っていれば少しぐらいの暴力はしかたない
- 「口答えするな！」と殴ったことがある

チェックが一つでもあれば二人の関係を見直してみたらどうでしょう。
できれば彼(彼女)といっしょにチェックしてみませんか？

<相談窓口>

デートDVの被害にあった時、また悩んでいる時は相談しましょう。
具体的なアドバイスをしてくれるし、名前を言わなくても相談できるし、秘密はちゃんと守ってもらえるから安心して相談できます。

配偶者暴力相談支援センター

TEL 097-544-3900

配偶者暴力相談支援センター

TEL 097-534-8874

大分県警察「警察安全相談」

TEL 097-534-9110

TEL 097-537-4107

班の話し合い



<班で話し合う受講者>

- 子どもが思春期になると異性との関係が友だちなのか、恋愛関係なのかが分からなくなってしまう。子どもに恋人ができた時にこのことを話さないと、子どもも実感がわからない。性の低年齢化が怖いです。
- 性の話は小学生でも早くない。知る機会を持つことで、皆が仲良く過ごせると思います。
- 今日の話は、身近な話であり、言葉や態度を振り返る機会になりました。
- デートDVと思いの強い恋愛を一緒にするのは寂しいです。
- 今日のお話は、子どもへの伝え方の参考になります。パンフレットの活用もしていきたいです。中・高の授業でもっと性教育をしてほしいです。
- 束縛につながるサイトやアプリなどの使い方に気をつけていきたい。相手の気持ちを受け止めることが大事です。
- 家庭では保護者の支えが必要です。まず、保護者にこの話を聞いてほしいです。
- DVについて聞いたことがあった人、なかった人で感じたことが異なりました。
- 家庭の中の父や母の役割はそれぞれあります。経済的にも対等は難しいけれど、助

け合いによってDVは防げると思います。

- 年齢に関係なくDVがある現状で、DVが低年齢化しているのにびっくりしました。親として気づくことが大事です。
- デートDV体験チェックの項目と似た体験をしたことがありました。当時は、束縛を愛だと勘違いしていました。
- 小さい時からの何でも話せる親子関係作り・時間作りが大事だとわかりました。
- どうしたらDVをしない子どもに育つのか知りたいです。
- 男性にDVが悪いということに気づいてもらう方法を知りたいです。
- デートDVってもっと生々しいことを想像していましたが、資料を通してよくわかりました。
- 資料を見て、自分に当てはまることがあるのか考えながら聞いていて、子どもにどう知識を伝えるか知っておくことが大事だと思いました。知識を知ることが大切だと思いました。
- 子どもにどう教えていくべきか悩む中で、教えていただける先生がいること自体ありがたいです。親も知ることが大切で、男性もこういう講座を聞きにくることが大切だと思いました。
- このような講義を通して、お互いに間違っていることだと気づくと思うので、子どもに発信できる・見本になれるような親子関係でありたいと思います。子どもと親がオープンで話せる親子関係を築くことが大切。
- 資料を見て、子どもにどう知識を伝えるか、知っておくことが大切だと思いました。
- 男性も講義を聞きにこれるよう、参加する機会を設けてほしいです。
- 親として、子どもにどう知識を伝えるか、まず、知ることの重要性がわかりました。
- 子どもと親がオープンで話せるような親子関係でありたいです。
- デートDVという言葉も知らなかったので、周知することは大切だと思いました。
- 小中学生のうちから教育してほしい。大人になって言われても本人には響かないと思います。
- 学校の性教育ではどんな話をしているのか聞きたいです。いつから子どもに性の話をするべきか悩みます。
- 自分たちが中高生の頃と今の子どもたちの感覚が違うので難しいです。
- 女の子は、特に、妊娠の可能性があるのできちんと話をしたいです。
- 知らない間に加害者になっている。デートDVという言葉を知らなかったです。
- デートDVは、抜け出すまで気づきにくいです。
- 小学生の頃からデートDVについて授業で学べるとよいです。
- 今日話を聞いて、デートDVに限らず、家庭の中の親子間・夫婦間の会話についても考えることがありました。相手がどう思うのかを考えていきたいです。
- 今日学んだことで、実際に相談相手になれそうだと思いました。

- これまでデート DV を知らなかったです。今日学んだことで、知識がないと気づかないままで、知識があることで受け止め方が違ってくると思いました。
- 親として知識を持てて良かったです。
- 目に見えない SNS 上での付き合いもあるので、その対処をどうすればよいか悩みます。
- 思春期の子どもに話をどうもっていけば良いか考えます。自分の子どもの行動について知りたいけど聞きにくいです。
- 家庭によって、子どもといろいろ話せる家庭と、話すきっかけを逃し気になるが聞けないまま来ている家庭があります。
- 初めてデート DV を知りましたが、子どもがまだ小さいので、知らなかったことばかりでした。
- DV という言葉は知っていましたが、デート DV についてはあまり知らなかったです。女の子がいるので、子どもが中学生・高校生になって相談された時は、きちんと対応してあげたいと思いました。
- デート DV にあった時に、相手と対等の関係でいられるようにきちんと考えることが長くいっしょにいられる秘訣かなと思いました。
- 中学生の娘がいるがデート DV は近い将来のことなので、今日帰った時にきちんと話をしたいと思いました。
- デート DV とそうではない間のグレーゾーンの判断が難しいので、学校での教育で教えていただけると助かります。
- 先生に対しても言いたいこと・伝えたいことを言えて、距離感がもっと近くなっていたら、大人が気づいてあげられることも増えるのかなと思います。
- 相手に対して思いやりの気持ちを持てる子になるには、どのように伝えていけば良いか教えてほしいです。



< 班の発表 >

<質疑・応答>

◇今日は、女性目線からの話やDVD視聴であったが、デートDVに関して男性目線からの話もあるとよかったです。

普通、DVといった時には、男性から女性にということが圧倒的に多いが、デートDVに関しては、女性から男性にということも結構ある。例えば、お金に関して、食事代を払うのは男性が当然といった態度であったり、女性からの暴力があったりする。付き合う上でいい関係をどうつくっていくかを考えるのは2人なので、そこを土台にしたつきあいができるといい。

◇どの学校でも性教育は行われているのですか。また、親は子どもの性とどう関わっていけばよいのですか。

どこの学校でも性教育のカリキュラムを組んでいる。学年に応じて、担任がPTAの授業参観等で授業を行っているところもある。文科省は、性交を教えるはいけないというが、子どもたちの方が進んでいる。子どもたちは、ネット等でいろいろな情報を得ている。だからこそ、きちんと教えていくのが大人の務めである。本当は、子どもたちも性についてきちんと知りたいと思っている。

◇性を考える上で、目に見えないSNS上での付き合いもあるので、その対処をどうすればよいか悩みます。

ヨーロッパでは、9歳以下の子どもには携帯やスマホを持たせない。国によっては16歳以下の子どもは、「携帯はだめ」と法律で禁止している所もある。経済優先の日本は、特に規制はないので、各家庭の対応となる。携帯・スマホを与える時に、ルールを決めるとよい。例えば、夜9時以降は、親が預かるようにしてもよいと思う。市町村単位で、条例で規制しているところもある。子どもに携帯やスマホを持たせた親の責任として考えてほしい。一般的な注意はできても1から10まで全部関わるわけにはいかない。与える時に、ルールをいっしょに考えていくとよい。子どもの意見も聞きながら、「**あなたが大事**」という視点で話せばいい。そして、もしトラブルがあった時には「**相談してね。私は、いつもあなたの味方になるよ。**」って、言えばいい。今は、与えることがだめって時代ではなくなっているので、「**使い方はいっしょに考えよう。あなたを信頼して持たせたのだから**」と、そういう形のコミュニケーションがとれるといいのではないだろうか。